

自然いっぱい！作物いっぱい！わたしたちの町

本単元で育成する資質・能力

1 日 時 平成29年11月6日（月） 第5校時（13：50～14：35）

2 学 年 第3学年 男子7名 女子14名 計21名

3 単元名 自然いっぱい！作物いっぱい！わたしたちの町 ～自分たちの町を紹介し隊！～

4 単元目標

自分たちの住んでいる地域の様子について興味や関心を持ち、地域の産物や特徴を調べることを通して、自分たちの住む地域への愛着を深める。

5 単元設定の理由

◎児童について

本学級の児童は、総合的な学習の時間に意欲的に学習している。特に、情報収集（調べ活動）において、家族の人にインタビューしたり、給食調理場の栄養士の先生にインタビューしたりするなど、活発に活動している。

活動する場面では、関心を持つ児童が多い一方、初めての総合的な学習の時間ということで課題をどのように立てたらよいのか、学習全体の流れがどうなっているのか、整理分析・まとめなどはどのようにするのかなど多くの場面で理解が不十分な面がある。

本校は、旧加計町内の学校が統合して現在の1つの小学校となっている。また、学区外から通っている児童もいる。そんな中、「自分たちの住む地域」と一言でいっても広範囲におよぶため、それぞれがもっている情報量や内容等に差がある。

◎本単元で身に付けたい資質や能力及び態度

【課題発見力】

・伝えたい相手を明確にし、町内の特徴あるものやことについて調べることができる。

【思考力】

・課題解決に向けて、知識や情報を活用して考えたり、比較して考えたりする。

【伝え合う力】

・自分たちが調べたことをわかりやすく発表するとともに、相手の話の中心に気をつけて聞き、気づきをもったり、感想を述べたりする。

【耐える力】

・課題に対して、情報を得ようとする際、必要な情報が得られるまで粘り強く調べ活動を繰り返すことができる。

【自己肯定感】

・自分たちの町の特徴を捉え、愛着を持つことができる。

◎教材について

安芸太田町は、広島県最高峰の恐羅漢山をはじめとする山々に囲まれ、太田川が流れる自然豊かな地域である。その豊かな自然から、オオサンショウウオやホタルが生息していたり、山間部の地

形を生かした農業や産業がおこなわれていたりする。

町の大部分が山間部であることから、大規模な農業や工業はみられない。しかし、昔から続いている稲作や祇園坊柿の栽培やそれを生かした商品開発も行われている。さらに、IターンやUターンなどで、農業や牧畜に携わる人や移住をされる方もおられる。また、山間地域の特徴から、三段峡やスキー場など自然を生かした観光もある。

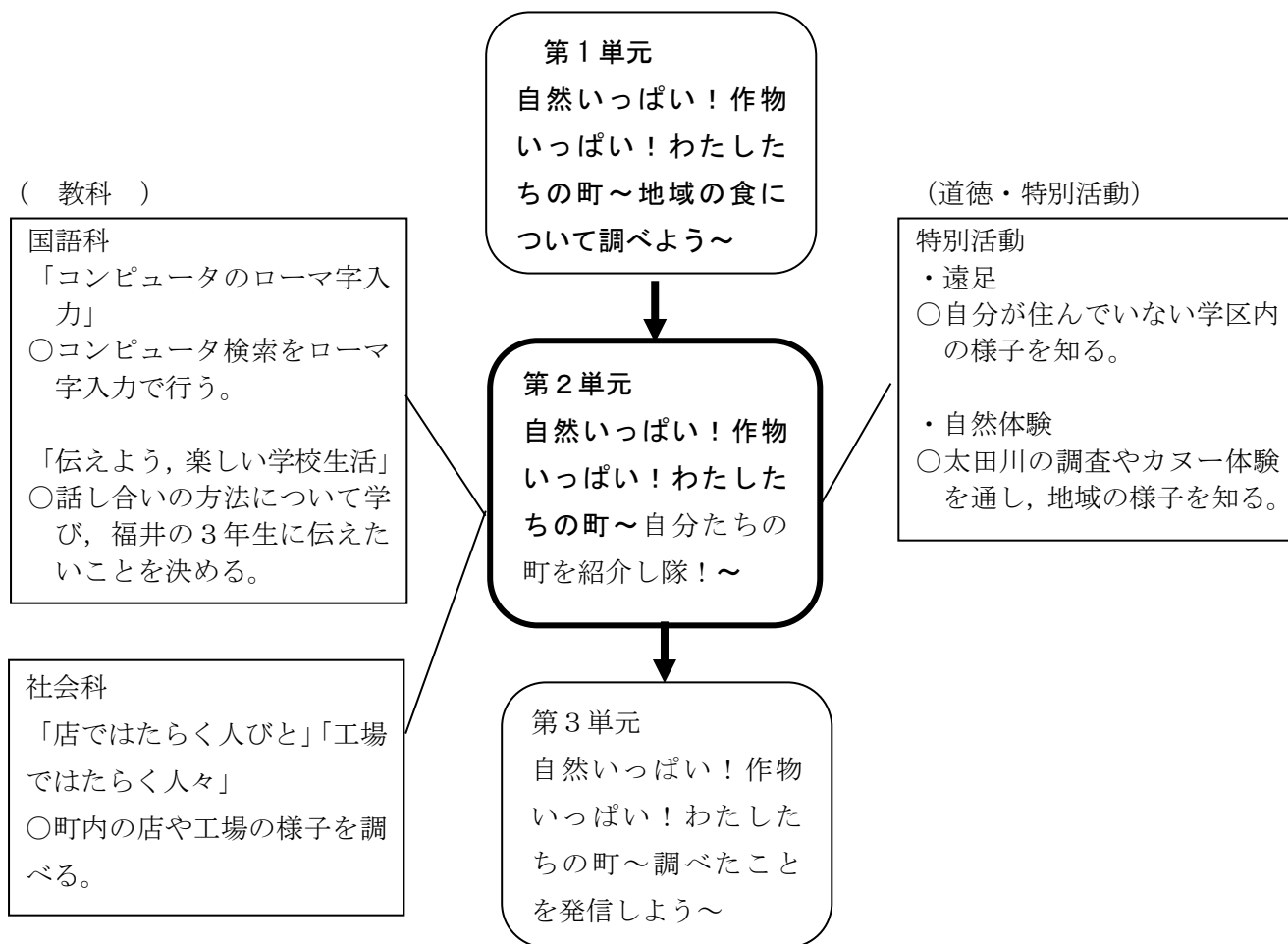
近年、少子高齢化や過疎化が進んでいる地域でもあり、魅力ある地域にするため、子ども医療費の定額化や外国語活動の充実、地域協力隊、Joca 中国の誘致などさまざまな取り組みが行われている。

このような環境の中で育つ児童が自分達の住む地域について調べていくことで、地域に愛着を持ち、自分たちの地域の魅力やよさについて考えるきっかけとなると考える。

◎指導の手立て

- ①「課題発見」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の流れの中で、現在の学習がどの場面であるかを常に意識させ、総合的な学習の時間の学習方法についての理解を図る。
- ②教材に対して情報収集をする際、インタビュー・本やパンフレットなどの紙の資料・インターネットでの検索などさまざまな手法を取り入れ、情報収集の技能を高める。
- ③相手意識を持ち、何のために学習しているのかということを明確にし、さまざまな活動に取り組みさせる。

6 単元の関連（他教科や領域）



7 第2単元の構成

第1小単元	「自分たちの住む地域の特徴を調べよう」 社会科の学習と関連させながら、安芸太田町の特徴ある場所やもの、産業などを調べ、自分たちが住んでいる地域がどんな地域なのかという課題意識を持つ。
第2小単元	「自分たちの地域と福井県の小学校の地域と比べてみよう」 福井県の小学校と交流を通して、調べたことを発表したり聞き合ったりする中で、共通点や相違点を見つけ、自分たちの住む地域について理解を深める。
第3小単元	「比べてわかったことを地図にまとめよう」 交流を通しての気づきを生かし、安芸太田町の特徴について地図にまとめる。また、単元のまとめを行い、安芸太田町への愛着を深める。

8 単元の評価規準

	資質・能力	評価規準
知識		ア 安芸太田町の様子について、インターネットや書籍、各種資料をもとに調べ、安芸太田町の特徴について知る。
スキル	課題発見力	イ 自分自身の生活やこれまでの経験などを生かしながら、自分たちの地域の安芸太田町に関する課題を設定することができる。 ウ ウェビングマップなどの思考ツールを活用し、課題を発見する手法が分かる。
	思考力	エ 見学やインタビュー、インターネット検索などの方法で情報を収集することができる。 オ 既習事項や自分の経験などをもとに比較しながら考えることができる。 カ 自分たちの住む地域と他の地域を比べながら、共通点や相違点を見つけることができる。
	伝え合う力	キ 課題に対する予想や調べたことをもとにした自分の考えをもつことができる。 ク インタビューや話し合いでは、相手の話の中心を考えながら聞き、質問したり感想を述べたりすることができる。
意欲 態度	耐える力	ケ 課題を解決しようと意欲的に調査したり、活動したりすることができる。
価値観 倫理観	自己肯定感	コ 安芸太田町の特徴を知るとともに、自分たちの住む町への愛着を深める。 カ 課題を解決していく取組を通して、自分の調べたことや話し合いが活かされたりすることに気づく。

9 第2単元の指導と評価の計画（全20時間）

次	時	学習活動	評価							評価方法
			知	課	思	伝	耐	自	評価規準	
1	1	課題の設定 安芸太田町の特色あるものを紹介するという課題を設定する。		○					ウ ウェビングマップなどの思考ツールを活用し、課題を発見する手法が分かる。	行動観察
	2 3 4	情報収集 ・家族の人などに町内の特徴をインタビューする。 ・安芸太田町には、どんな特徴があるのかインターネットを使って調べる。			○				エ 見学やインタビュー、インターネット検索などの方法で情報を収集することができる。	行動観察 ワークシート
	5	整理・分析 調べたことを出し合おう。 ・自分たちが調べたことを学級全体で出し合い、それぞれの特徴をつかむ。				○			ク 相手の話の中心を考えながら聞き、質問したり感想を述べたりすることができる。	行動観察
2	6	課題の設定 自分たちの調べたい課題を決めよう。 ・相手意識を持ち、伝えたい内容を決める。		○					イ 自分自身の生活や経験などを生かしながら、自分たちの地域の安芸太田町に関する課題を設定することができる。	行動観察
	7 8 9 10	情報収集 情報を集めよう。 ・インターネットや本などから、グループごとに必要な情報を収集する。			○		○		エ 見学やインタビュー、インターネット検索などの方法で情報を収集することができる。 ク 課題を解決しようと意欲的に調査したり、活動したりすることができる。	行動観察 ワークシート
	11 12 13 14	整理・分析 発表の準備をしよう。 ・相手にわかりやすく伝える方法を考えまとめる。			○	○			オ 既習事項や自分の経験をもとに比較しながら考えることができる。 キ 課題に対する予想や調べたことをもとにした自分の考えをもつことができる。	行動観察 ワークシート 作品

	15 本 時	<p>まとめ・表現</p> <p>交流をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県荒土小学校とのテレビ交流して、それぞれの地域の共通点や相違点を見つける。 			○			<p>カ自分たちの住む地域と他の地域を比べながら、共通点や相違点を見つけることができる。</p>	行動観察
	16 17 18	<p>整理・分析</p> <p>地図にまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたものを地図にまとめる。 	○					<p>ア安芸太田町の様子について、インターネットや書籍、各種資料をもとに調べ、安芸太田町の特徴をつかんでいる。</p>	行動観察 作品
3	19 20	<p>まとめ・表現</p> <p>2学期の学習をふりかえろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期に学習したことを振り返り、学習方法や知識などでの成長を見つめなおす。 					○	<p>コ安芸太田町の特徴を知るとともに、自分たちの住む町への愛着を深める。</p> <p>カ課題を解決していく取組を通して、調べたことや話し合いが活かされたりすることに気づく。</p>	行動観察 ワークシート

10 本時の学習指導（第 15 時／20 時間）

（1）目標

○福井県荒土小学校の 3 年生との交流を通して、お互いの地域の特徴の共通点や相違点を見つけて、自分たちの地域の特徴をとらえることができる。

（2）本時の評価規準

○自分たちの住む地域と他の地域を比べながら、共通点や相違点を見つけている。（思考力）

（3）準備物

・大型テレビ ・iPad（WiFi 環境） ・ワークシート ・ホワイトボード（マーカー）

（4）本時の学習展開

学習活動	○指導上の留意点（◆支援）	資質・能力の評価 (評価方法)
1 本時の学習課題をかくにんする	○お互いの地域の特徴を伝え合うとともに、共通点や相違点を見つけていくことを確認する。	
【めあて】 おたがいの発表を聞き合い、同じところやちがうところを見つけよう。		
2 おたがいの発表を聞き合う。 ○福井県荒土小学校の発表 ○広島県加計小学校の発表	○相手意識を持たせ、聞きやすい声の大きさや速さで発表させる。 ○自分たちの住む地域との共通点や相違点に気をつけて聞くようにさせる。 ○必要に応じて、メモを取りながら発表を聞かせる。 ◆指導者が児童のそばにつき、補足説明をする。 ○指導者が相手の発表の内容を項目ごとに簡単にホワイトボードに書いてまとめる。	
3 共通点や相違点をつかむ。 ○お互いの地域の共通点や相違点を図にまとめる。	○共通点や相違点を発表させる際、福井と広島の児童とが偏りのないようにする。 ○全体発表をしていない内容でも、共通点としてあげられるものがあれば、発表してよいことを伝える。	

<p>○まとめた図を見て気づきや感想を出し合う。</p>		<p>共通点や相違点を見つけ、自分たちの住む地域の特徴をつかんでいる。 (行動観察・ワークシート)</p>
<p>【期待する感想や気づき】</p> <p>○地域に多くの自然がある。</p> <p>○地元でとれる作物を使って、商品などを作っている。</p> <p>○自然などを生かして、観光に力を入れている。</p>		
<p>4 本時のまとめをする。</p> <p>○交流の感想をワークシートに書く。</p>	<p>○発表の内容、発表の仕方など、全体を通しての感想を書くとともに、今後の見通しが持てる児童には、これからどうしていきたいのか書かせる。</p>	

11 板書計画 (教室配置)

